

プレスリリース

╱福島銀行

公式キャラクター はまなか あい

「生物多様性のための30by30アライアンス」への参加について

福島銀行(取締役社長 加藤 容啓)は、環境省が主導する「生物多様性のための30by30 (サーティ・バイ・サーティ)アライアンス」への参加をいたしましたのでお知らせします。なお、当行の参加は福島県内に本社を置く企業では初、東北地区第二地方銀行業界初の参加(2024年2月13日参加日時点)となります。

1.参加日

2024年2月13日(火)

2. 「生物多様性のための30by30アライアンス」とは

2030年までに生物多様性の損失を食い止め回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標のことであり、また、その目標達成に向け、今後日本として現状の保護地域の拡充とともに、民間(企業・個人)によって保全されてきたエリアを認定する取り組みを進めるため、環境省を含めた産民官17団体を発起人とする有志連合のこと。

<30by30アライアンスロゴマーク>





3. 当行の30by30アライアンスにかかる取り組みについて

当行では、「生物多様性条約」及び「国連気候変動枠組条約」の採択と同年の1992年に「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」を設立し、長きに亘り福島県内において自然環境保護活動をされる団体を応援して参りました。当行は当基金及び30by30アライアンスを通じて、福島県内における自然環境保護や生物多様性保全に関する活動をされる企業・団体を引き続き応援するとともに、ネイチャーポジティブに貢献して参ります。

なお、当基金における助成金は当行から当公益信託に信託された金銭より全額拠出されております。

以上